

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成21年11月4日		使用開始日																																
登録診療科	泌尿器科		申請医師	化学療法委員会承認年月		平成 年 月																													
レジメン名	シスプラチン併用放射線療法																																		
疾患名	尿路上皮がん		適応の備考																																
適応分類	進行・再発																																		
1コース日数	28	日間	総コース数	1	コース	催吐性リスク	高度																												
抗がん剤投与量・投与日				シスプラチン20mg/body day1-5、22-26																															
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)				(day)																															
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
1	主ルート	ソリューゲンF500mL	2 本 / body	4 時間	●	●	●	●	●																		●	●	●	●	●				
	点滴静注		/	/																															
2	側管	生食250mL	1 本 / body		●																						●								
	点滴静注	プロイメント注150mg	1 本 / body	30 分	●																						●								
(シスプラチン注投与の1時間前)																																			
3	側管	アロキシ注ハツグ0.75mg	1 本 / body		●																						●								
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●																						●								
	点滴静注	デキサート注1.65mg	2 本 / body		●																						●								
	(シスプラチン注投与の30分前)																																		
4	側管	生食50mL	1 本 / body		●				●																			●							
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●				●																			●							
(シスプラチン注投与の30分前)																																			
5	側管	生食50mL	1 本 / body				●	●																					●	●					
	点滴静注	デキサート注6.6mg	2 本 / body	30 分			●	●																				●	●						
(シスプラチン注投与の30分前)																																			
6	主ルート	生食100mL	1 本 / body						●	●	●																						●	●	●
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分					●	●	●																						●	●	●
(シスプラチン注投与の30分前)																																			
7	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																			●	●	●	●	●			
	点滴静注	シスプラチン注	20 mg / body	2 時間	●	●	●	●	●																			●	●	●	●	●			
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する																																			
8	主ルート	ソリューゲンF500mL	2 本 / body	4 時間	●	●	●	●	●																			●	●	●	●	●			
	点滴静注		/	/																															

【投与上の注意】

- 放射線治療開始日から、4週目に5日間連続投与。放射線はday1-28連日照射。
- ・プロイメントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・プロイメントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・プロイメントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- ・シスプラチン: 希釈は生食のみ。
- ・シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- ・シスプラチン: 適宜、利尿剤を投与
- デキサート: デキサート注6.6mgの処方オーダをday29に電子カルテシステムのレジメンに組み込んだため、1コース28日間であるが電子カルテシステムでは休薬完了がday29に表示されている。